

No. 6のレポートは作品制作です。スクーリングでは、作品の作り方を説明しますが提出はしません。次のことに注意して自宅で作品制作をし、それをレポートに添付して提出してください。

問一 2種類の「雨の日は雨を愛そう」があります。  
「線が太い、細い」「字が大きい、小さい」というようなことではなく、作品から受ける印象、例えば「力強い」「やわらかな雨」「梅雨真ただ中」「夏の夕立」など想像をふくらませて考えてみましょう。  
①か②どちらか好きなほうのに○をつけてください。

問二 ●漢字仮名交じりの書の作品を作ってください。漢字仮名交じりの書とは、文字どおり漢字と仮名が交じっている文章のことです。題材としては、松阪高校の校歌を使用します。

●作品のサイズは半紙～半紙 1/2 の間で大きさ・形・材質・色(・がら)は自由です。

●文字数は十文字以上必要です。

●誤字・脱字があってははいけませんし、文字の書き換えをしてもいけません。

●出典とは、小説・詩・俳句・短歌ならタイトル・作者、歌詞なら歌のタイトル・作詞者、格言はその言葉を言った人物のことです。

ここでは、校歌の作詞者、作曲者、題名です。

●紙面構成とはこういう作品になるという、完成予想図のようなものです。レポートには紙の大きさを四角く線で示すとありますが、紙を丸や、その他の形にするときは、そのようにしてください。そこに文章を作品らしく構成して下さい。→それを元に作品制作します。

●落款とは、名前などのサインのことで、本文より小さく書きます。

例) 松阪高等学校校歌花子書画  
などです

花子のところには自分の名前を入れます。苗字は省き、名前だけを使います。山本書のように苗字だけを使うことはありませんし、山本花子書とフルネームで使うこともありません。

●クラスは必要ありません。

●「書」のあとに印(はんこ)を押すことを想定して、落款の位置を決めます。画は作品に筆で書かずに、持っていれば、ここに作品用の印を押してください。

●作品制作をするときは紙のサイズ・文字数に応じて使用する筆を変えてください。(小筆か大筆か根元まで下ろしてある小筆か等)

●本文も落款も同じ筆で書いてください。

●墨色・書体・書風は自由です。皆さんの個性がでるように工夫してください。また、字の上手・下手ではありませんのでぜひ楽しい作品を作ってください。

最後の締めくくりのレポートです。楽しんで取り組んでくださいね。  
また、わからないことがあれば、いつでも職員室に質問に来てください。

- ① 作品にする言葉を正確に書いてください。
- ② 出典を正確に書いてください。(①②とも記入漏れは再提出になります。)
- ③ 構成を考えて書いてください。それを元に作品制作をしてください。

- 問  
三
- ① 自分が思ったことをたくさん書いてください。
  - ② 教科書・学習書を参考にしつつ答えてください。答えが合っているかとか間違っているかとか気にせず、自分の考えを書いてください。一生懸命考えて答えることが重要です。

- 問  
四
- 松阪高校校歌の歌詞は、学習のしおりの表紙裏に載っています。丁寧に書いてください。

一年間お疲れ様でした。これでレポートは終了です。  
作品を添付するのを忘れないでくださいね。  
作品が自分のお気に入りになって、部屋に飾れるといいですね。